

おおまたちいきしげんほぜんかい

大俣地域資源保全会（中野市）

• 組織の活動面積 A= 13 ha	組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上(長寿命化) ■
• 組織の構成員数 約 60 人	取組開始年度	平成26年～	平成26年～	平成26年～

構成員	大俣水利組合員及び大俣区民
-----	---------------

組織の概要

江戸時代からの皆畑村が昭和8年千曲川からの揚水を開始し、先人達のご苦勞から米作り農業の仲間入りを果たした。

その揚水設備の改修・改良を長年に渡って進めてきたが未だ発足当時のままの物が残っており、その費用が嵩みまた東北大震災の結果として農事用電力の大幅な値上がりがありました。稲作を続けていけるか否かの瀬戸際打開の為、大俣水利組合を中心とする構成員で組織した大俣地域資源保全会。荒廢地と化すことなく、稲作を守り、美しい故郷を守り、集落現状維持をこの活動の中心に据えています。

子や孫達の為に耕作放棄地増加をくい止めよう。



昭和60年航空写真



平成28年現況写真

約31年前との比較



メンバーによる自前の農道舗装工事



共同作業 草刈り



耕作放棄地再生 樹木抜根～焼



老朽化水路U字溝敷設工事



5/31 ポンプ小屋 電動機再取り付け

千曲川の洪水～電動機避難～設備ピット内の洗浄～洪水に伴う泥上げ～退避した設備の戻し～試運転